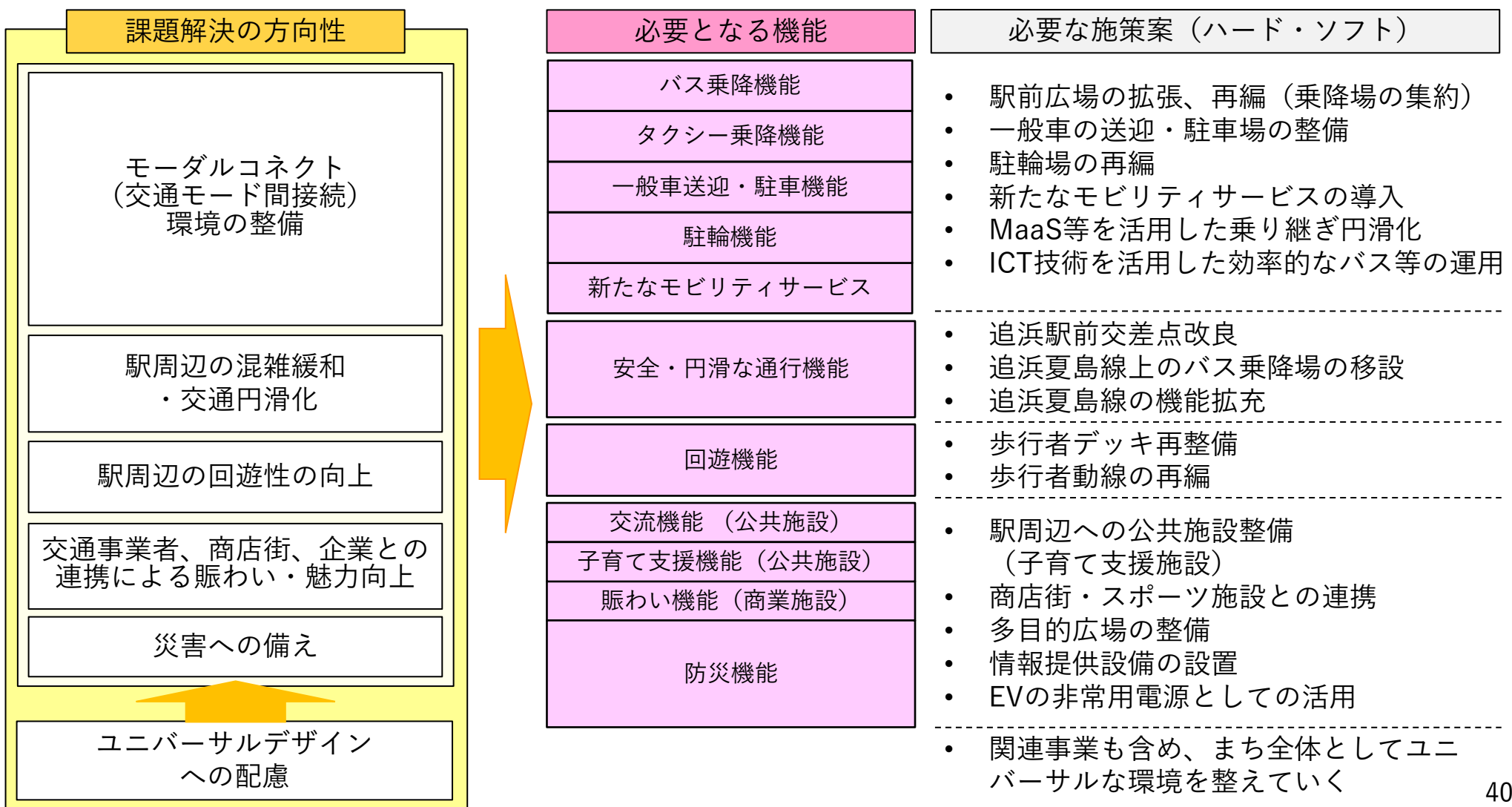


5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-1. 備えるべき機能

○追浜駅周辺における課題を踏まえ、必要となる機能の導入を図るため、限られた空間を有効活用しつつ、ハード・ソフトの両面から対策をとることが必要です。



5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-2. 分担型整備の考え方

- 駅前空間の空間的制約により、必要な機能のすべてを駅前だけで受け持つことが難しい状況です。
- そのため、駅前空間に収まらない機能については、周辺の民間事業等と分担し、機能を確保していく必要があります。



5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-3-1. 事業の対象範囲

○限られた駅前空間のため、追浜駅前第2街区にて整備される機能を踏まえ、駅前空間側に必要な機能を確保します。

駅前空間側での機能配置(案)

- ・ 交通ターミナル
(バス・タクシー・一般車乗降場)
- ・ 賑わい空間 (商業施設等)
- ・ デッキ (兼災害時滞留場所)
- ・ 公共施設(ex.子育て支援施設等)
- ・ 待合・利便施設、情報発信施設

等

追浜駅前第2街区側での機能配置(案)

- ・ 一般車駐車場
- ・ 駐輪場
- ・ 商業施設
- ・ 図書館

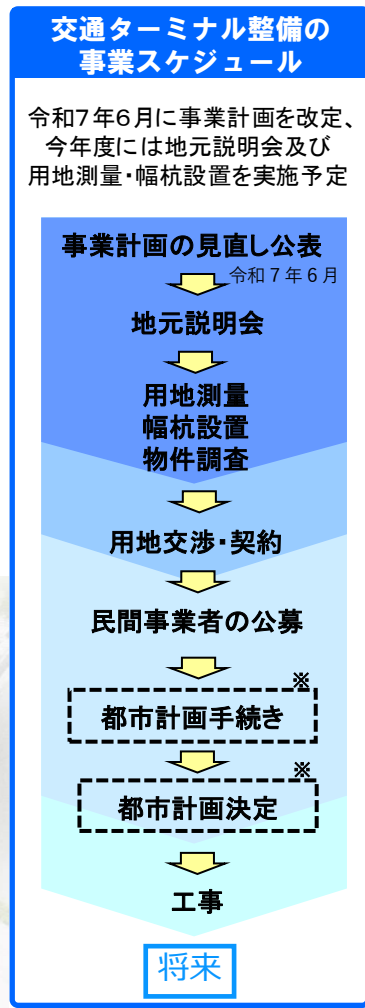
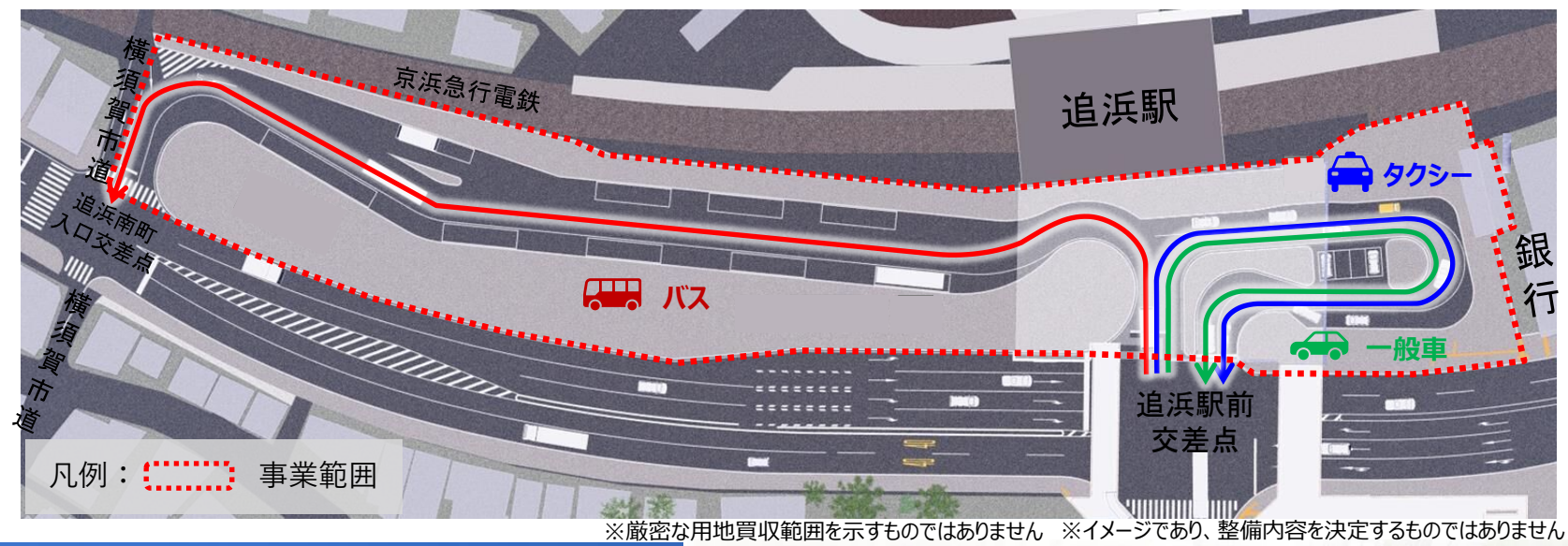
等

※厳密な用地買収範囲を示すものではありません。

5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-3-2. 事業の対象範囲及び事業スケジュール

- 交通事業者等との意見交換及び交通管理者との調整を踏まえ、出入口部の安全対策、将来的な連節バス導入可能性、交通事業者の負担や旅客サービスへの影響を加味し交通ターミナルの形状を具体化しました。
- 今後は事業スケジュールに従い、必要な手続き等を進めて参ります。



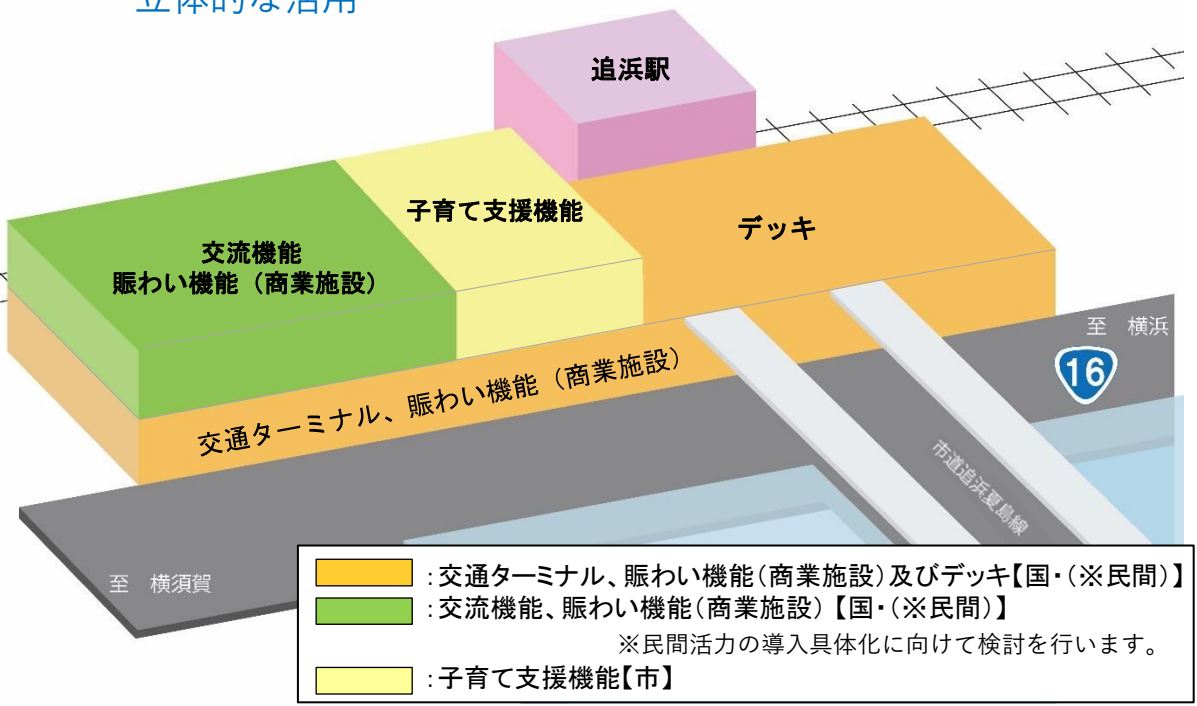
5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-4. 事業スキーム(立体的空間活用)

- 駅前に必要な機能を導入していくためには、狭い敷地を有効活用することが必要となります。
- そのため、交通結節点の整備においては、交通機能・交流機能・子育て支援機能・賑わい機能・防災機能を階層的に配置することで、空間の有効活用を図ります。

■ 駅前空間の立体的活用

官民連携による道路空間の
立体的な活用



< 駅前空間の立体的活用 >

- 1 階と2 階は道路空間として国が交通ターミナル、賑わい機能（商業施設）及びデッキ等を整備
- 2 階以上の部分は交流機能・子育て支援機能・賑わい機能（商業施設）等を整備

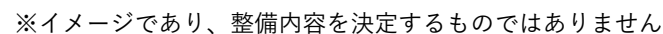


空間を立体的に活用することで、交通機能・交流機能・子育て支援機能・賑わい機能・防災機能を階層的に配置

※イメージであり、整備内容を決定するものではありません。

5-5. 動線ネットワーク

- コンセプト：①歩車動線を階層的に分離し、安全かつ快適な空間を確保
②えき・まち・みち・水辺の回遊性を向上し、滞在したくなる空間を確保

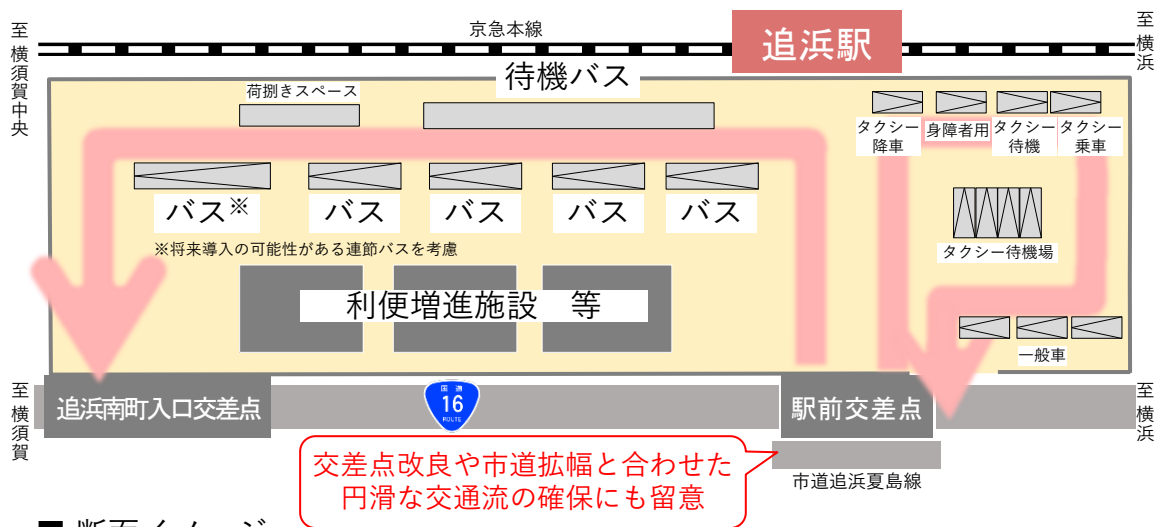


5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

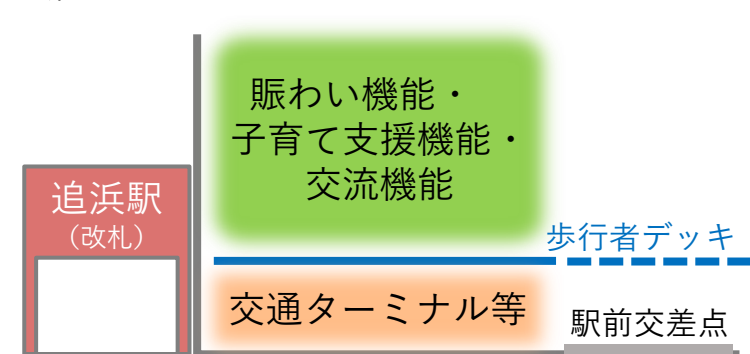
5-6. 交通ターミナル整備の考え方

- 追浜駅周辺の事業計画策定時の時刻表等を基にすると、バスバースは**6バース程度**必要となります。
- また、タクシーについても、**各1台分の乗降場**および**5台程度の待機場**が必要と考えられます。
- 円滑なバス・タクシー運行のため、運行調整を行い配置を検討していく必要があります。
- これらの調整役等については、関係各所との調整の上、今後決定していく必要があります。

■ 平面イメージ

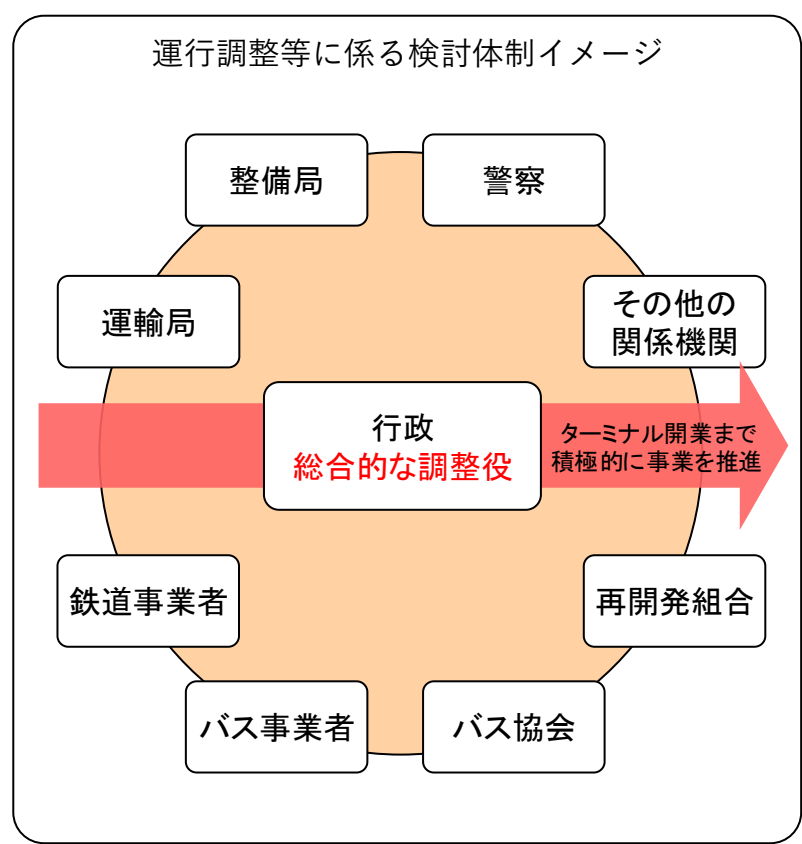


■ 断面イメージ



※ 交通ターミナルの整備内容については、今後関係機関調整にて詳細を決定

■ 検討体制イメージ



5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-7. 公共施設

- 交通結節点の整備では、子育て支援施設などの公益利便に資する子育て支援機能や賑わい機能（商業施設）などの導入が期待されます。先行する追浜駅前第2街区第一種市街地再開発事業で計画されている図書館の整備と併せて駅前空間に必要な機能を確保します。
- また、多くの人が集まることから、イベントに活用できる多目的スペースや防災機能についても具備すべきと考えます。



子育て支援施設イメージ 出典：旭市多世代交流施設おひさまテラスHP



イベント広場イメージ（泉マルシェの様子） 出典：泉マルシェ実行委員会提供



図書館イメージ（那須塩原市図書館）出典：事務局撮影



イベント広場イメージ（キッズベースボールフェスティバル2019の様子） 資料提供：横浜DeNAベイスターズ

5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-8. デッキ空間

- 追浜駅交通結節点とまちを接続するユニバーサルデザインに配慮した歩行空間として、周辺街区（サンビーチ追浜、追浜駅前第2街区第一種市街地再開発事業）との間を2階レベルで接続するペデストリアンデッキを整備します。
- 駅前広場としての交通手段の利用や乗り換え、待ち合い等の空間としてだけでなく、市民や来訪者が集い、くつろぎ、賑わう空間として活用します。
- また、災害時にも一時的な避難場所やバス待機者の受け入れ空間などとして活用可能な機能を導入します。

■デッキの導入機能

導入機能(想定)	内容
歩行機能	・ユニバーサルデザインを確保した歩行者動線 ・追浜駅を中心とした東西南北方向のシームレスな移動
賑わい機能	・多目的(イベント)スペース ・休憩施設 など
防災機能	・災害時の一時的な避難場所 ・バス待機者の受け入れ空間 ・災害時の情報提供、非常用電源等の提供 など
次世代モビリティ	・次世代モビリティの乗降空間 など

■デッキ整備イメージ



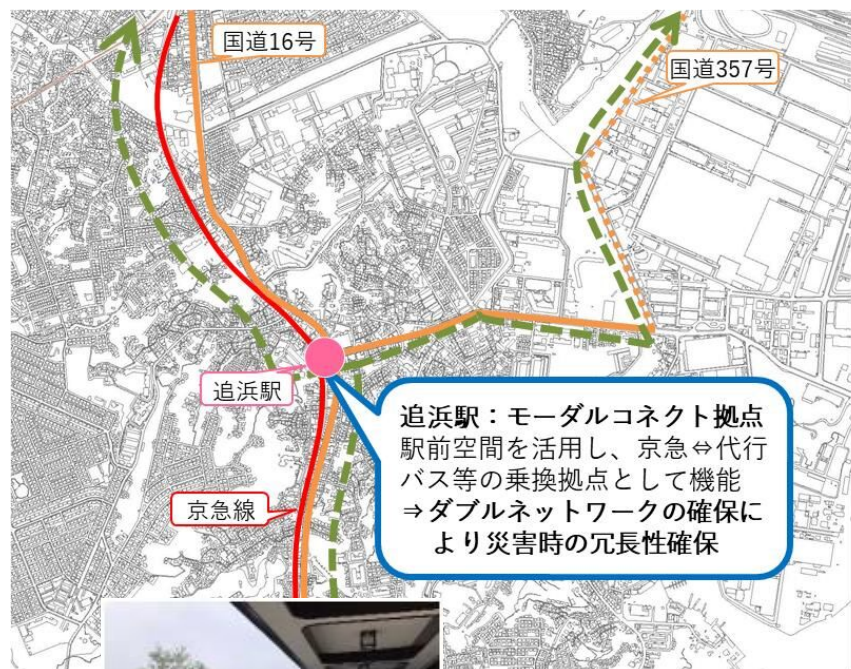
※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-9. 防災機能

- 追浜駅は、京急線と並行・直交する広域道路網の接点に立地することから、災害により鉄道・道路が不通となった場合に対応した、代行バスの発着拠点としての機能が求められます。
- 上記を踏まえ、駅前空間を活用した災害時乗換拠点としての機能確保についても検討を進めます。
- また、追浜駅周辺の各避難地・避難所への安全・安心な避難行動等を支援するため、災害発生直後や復旧段階等における情報拠点としての機能導入を検討します。

■京急線と道路網による災害時の冗長性確保イメージ



地図出典：国土地理院 数値情報地図



代行バス（くま川鉄道 人吉温泉駅の状況） 出典：国交省HP

■交通結節点に導入する機能の災害時の活用例

- ・交通結節点の災害時交通マネジメント拠点としての活用
- ・イベントに活用できる多目的スペースを、災害時滞留場所として利用
- ・鉄道・バス等の乗り継ぎ案内情報板や、Wi-Fiを活用した情報提供
- ・EV車両の災害時の非常用電源としての活用
- ・次世代モビリティを活用した避難場所までの移動支援

災害時の避難者の行動イメージ

- ・追浜駅に行けば、リアルタイムな被災状況や避難場所の情報が確実に入手できるから安心
- ・追浜駅に行けば、知り合いや地域の人にも落ち合え、安心できる
- ・Wi-Fiも利用できるため、インターネットでの情報収集や家族等への連絡もスムーズ
- ・電気自動車を利用した携帯電話の充電ができ、安心して避難できる
- ・日常的に利用する次世代モビリティや自動運転車両を使って、避難ができるので、高齢者でも安心して避難ができる

■災害時の情報提供イメージ



■EV等を活用した携帯電話等の充電イメージ



出典：資源エネルギー庁ウェブサイト

(https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/xev_saigai.html)

5-10. 災害時の三浦半島全体への支援・耐災害性強化イメージ

大雨・高潮等による「停電」「国道16号追浜駅北側での道路冠水」「追浜駅南側での土砂災害による京急線運休」の同時発災を想定

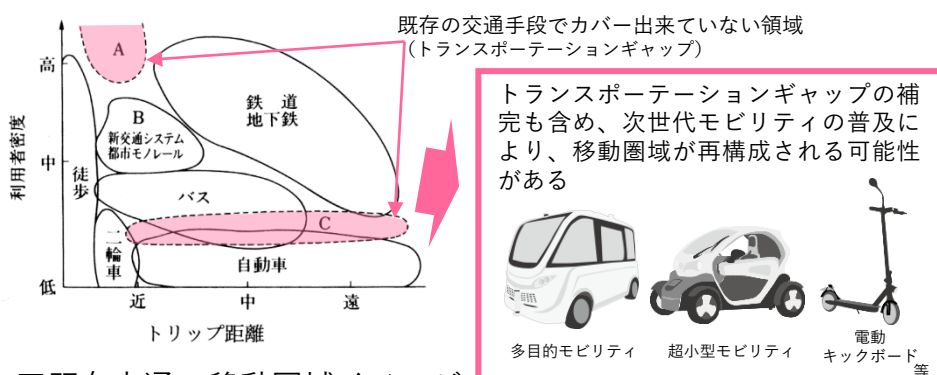


5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

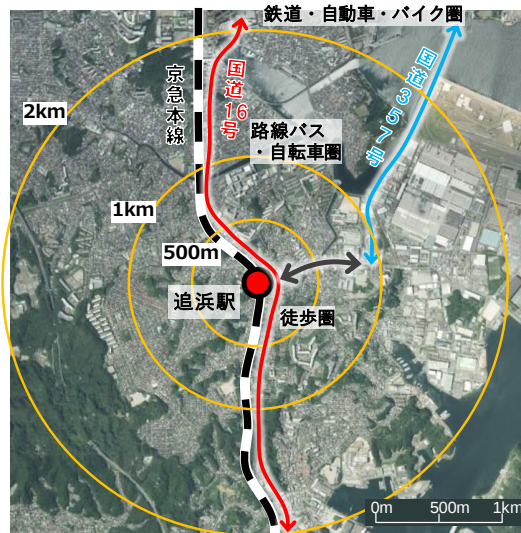
5-11. 次世代モビリティ

- 交通結節点整備による利便性向上・次世代モビリティの普及等も見据え、追浜駅周辺の移動圏域の再構成を検討します。
- 次世代モビリティにより、既存モビリティを補完することで、駅周辺の回遊性の向上を目指します。

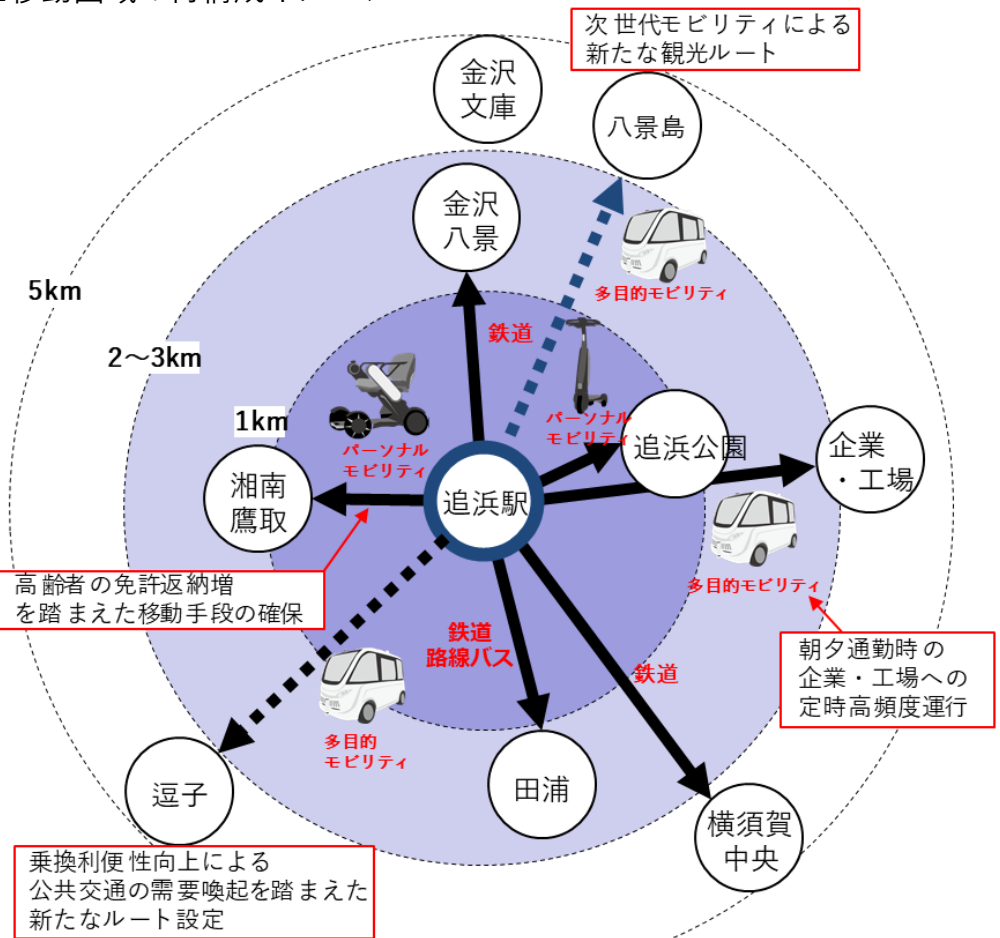
■次世代モビリティによる移動圏域の再構成



■既存交通の移動圏域イメージ



■移動圏域の再構成イメージ



5. 追浜駅交通結節点整備事業の具体イメージ

5-12. 「追浜えき・まち・みちデザインセンター」と連携した事業の推進

- 「追浜えき・まち・みちデザインセンター」と連携し、交通ターミナル整備を推進するとともに、道路管理者としての役割を明確にしつつ、災害時マネジメントを含めた、整備後の運営管理などの将来的なエリアマネジメントを見据えた体制を構築します。

■ 地域と連携した事業の推進

